

要 旨

試験委託者 環境省

表 題 アリルアルコールのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験

試験番号 No. 2002-生30

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 203「魚類急性毒性試験」(1992年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： アリルアルコール
- 2) 暴露方式： 半止水式 (24 時間毎に試験液の全量を交換、密閉容器使用)
- 3) 供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4) 暴露期間： 96時間
- 5) 試験濃度 (設定値) :
対照区, 0.32, 0.56, 0.68, 0.82, 1.0 mg/L
公比(変則) ; 1.8(0.56 と 1.0 mg/Lの間は公比 1.2)
- 6) 試験液量： 3 L/容器
- 7) 連数： 1 容器/試験区
- 8) 供試生物数： 10 尾/試験区
- 9) 試験温度： 24±1 °C
- 10) 照明： 室内光、16 時間明/8 時間暗
- 11) pH： 試験液の pH調整は行わない
- 12) 分析法： GC-MS法

結 果

- 1) 試験液中の被験物質濃度：被験物質の濃度は換水前後の測定値を用いて幾何平均値を求め、各影響濃度を算出した。
- 2) 96 時間の半数致死濃度 (LC50) : 0.589 mg/L (95%信頼区間 : 0.487 ~ 0.678 mg/L), Probit